

重点課題	1 「確かな学力」の育成	2 「豊かな心」の醸成と人権教育の推進	3 「健やかな体」づくりと安全教育
重点目標	① 基礎学力の定着と活用する力の育成 ② 読書習慣の定着 ③ 言語活動の充実	①互いのよさを認め合う仲間づくり ②人権尊重精神の醸成 ③豊かな情操や感性の育成	①健康的な生活習慣・運動習慣づくり ②食育指導の充実 ③安全教育の徹底
児童	<p>○「家で次の時間以上、学習する。1・2年生20分以上、3・4年生40分以上、5・6年生60分以上」↑ 今年度は、「よくあてはまる」と回答している児童が5割、「あてはまる」と回答している児童も含めると約8割に達している。家庭学習の手引きに基づいた指導や基礎学力の定着を目的とした課題の工夫、発達段階に応じた自主学習の定着に向けた取組等の効果であると思われる。今後も「学びの習慣」を重視しながら「効果的な学び」となるよう工夫していきたい。</p> <p>○「時間を見つけて、読書をしようとしている」→ 昨年度同様「できなかった」と答えた児童が3割いる。今年度取り組んできた「児安ブックリスト」の充実や教師の夜読み聞かせを引き続き取り組むとともに、メディアコントロールとあわせて家庭での読書習慣が身につくよう取組の改善を行っていきたい。</p> <p>○ICTを活用した教育活動が行われ、積極的に取り組めるようになった。</p> <p>○「授業中に先生や友達の話をしっかり聞いて考えたり発表したりしている」↓ 昨年度「あてはまる」と答えた児童は8割を超えていたが、今年度は8割を割り込んでいる。再度、「話し方名人、聞き方名人」の確認をするとともに、「話す」について、発達段階に応じた系統的な指導を行う必要がある。</p>	<p>○「仲間はずしやいじめをしない」「わる口やかげ口など、人のいやがることをいわない」→ 昨年同様「できた」が9割を超える回答となっている。ただ、いずれも昨年と比較すると「よくできた」の回答が減り、「できた」の回答が増加しているので、下振れの傾向にあると考える。トラブルの解決など、発達段階に応じて必要な人間関係の調整を行いながら、児童一人一人の背景をつかみ生徒指導に生かす取組や人権教育を基盤とした温かい人間関係をつくる取組を進めていきたい。</p> <p>○「学級会などで、楽しい学級にするために進んで考えたり、意見を発表したりしている」→ 昨年度同様に「できた」と回答している児童は8割を下回っている。学級会を充実させ、話し合い活動を通して、児童が主体的に学級を高めていく取組を進めていく必要がある。</p> <p>○「先生は、命や健康、友だちの大切さなどを教えてくれる」→ 「あてはまる」に97%の児童が回答している。養護教諭による、命の授業や保健指導、担任による道徳の授業、朝会での校長先生の訓話など、日頃の指導の積み重ねがこの結果であると考えます。</p> <p>○「きまりを守って生活する」「進んであいさつをする」→ 昨年度同様、児童の意識は高いまま維持できている。引き続き児童の生活に根ざした取組を行っていきたい。</p>	<p>○「外で元気に遊んだり、しっかり運動したりしている」↑ 「よくできた」と回答している児童が10%増加しており、改善傾向とみている。本年度の「すくすくタイム」の取組など、年間を通した計画的な実践を今後も進めていきたい。</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはんを心がけている」→ 回答の傾向は昨年度と同様であった。課題となっていた朝食の質の問題も残っている。本年度行った学校保健委員会や食育劇の取組を充実させるとともに、メディアコントロールで行ったような家庭と連携した取組を強化していく必要がある。</p> <p>○「交通安全や防災について、学んだことに気をつけて生活している」↑ 「よくできた」と回答している児童が71%となっており、昨年度より10%増加している。総合防災訓練の実施により、関係機関、地域と連携した取組ができた結果であると考えている。今後も、地域の防災の拠点としての役割を果たしつつ、地域を生かした防災教育の充実を図っていきたい。</p>

<p>保護者</p>	<p>○「学校は、子どもが楽しく学べるために、基礎・基本を大切にしたわかる授業に努めている。」↑ 3年連続「あてはまる」が90%を超えている。参観日での授業公開や普段の子ども達の様子からこの結果になったと思われる。</p> <p>○「学校はお子さんが自分の考えをもち、積極的に意見交換や発表ができるよう指導している」↑ 「あてはまる」と回答している保護者が92%となっている。上記と同様、参観日での授業公開がこの結果につながったものと考え。本年度はコロナ前のように教育活動を行うことができ、制約のない状態で児童の学びの姿を見てもらうことができた。</p> <p>○「お子さんは、家庭で読書をする習慣がついている。」→ 今年度の課題であったが、「あてはまる」が5%増加の65%にとどまった。「児安ブックリスト」の取組により改善傾向ではあるが、おうち読書の充実を含め、家庭での読書を推進する工夫が必要である。</p> <p>○「子どもたちは、前日に学習の準備をする習慣が身についている」↑ 7割の児童ができていますと回答しており、改善傾向にある。引き続き家庭と連携を取り、改善を図っていききたい。</p>	<p>○「子どもたちは、進んであいさつしている」→ 昨年度同様「あてはまる」が8割を超えている。引き続き学校長の朝会での訓話や教職員の啓発、なかよし委員会のあいさつ運動などの取組を続けながら、スローガンの一つである「あいさついっぱい」の学校となるよう改善を加えていきたい。</p> <p>○「家庭では、いじめや差別の不合理について話し合う機会を設け、よりよい人間関係を築くことができるよう支援している。」→ 昨年度同様、「あてはまる」と回答した保護者が85%となっている。人権に関する授業参観では、各学年、発達段階に応じた人権課題を取り上げ授業を行った。また、弓削田健介氏の人権コンサートの保護者の感想でも、新たな気づきがあったことがうかがわれるものもあり、家庭での話し合いのきっかけになったのではないかと考えられる。</p> <p>○「学校は様々な学校行事や外部講師による講演などを通して、豊かな情操や感性の育成に努めている」↑ 「あてはまる」が9割を超えている上に、「よくあてはまる」の回答割合が増加している。市の外部人材活用事業を生かしたり、学校運営協議会の協力により、多くの学校行事に地域の方のご協力をいただいた結果であると考え。</p> <p>○「お子さんは仲良く楽しい学校生活を送っている」↑ 今年度は99%と高い割合となっている。今後も、人権教育を基盤とした学級経営を行うとともに、地域の方を中心に、外部人材を生かした温かく学びのある教育活動の創造を進めていきたい。</p>	<p>○「家庭では、栄養バランスの取れた食事に努めている」「早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けさせている」↑ 共にやや改善傾向にある。しかし、朝食の質の問題もあるので、給食だよりや保健だよりでの啓発、学校保健委員会の実施の他、生活習慣や栄養について、専門の方を招いて保護者に講演していただくなど具体的な方策を検討する。</p> <p>○「家庭では、こどもに適切な運動（外遊びも含む）を推奨している。」→ 昨年度同様「あてはまる」が8割を超えている。家庭においては、運動を推奨しているようなので、学校における取組を充実させたい。</p> <p>○「学校は防災や交通安全などに保護者・地域や関係機関と連携して取り組んでいる」↑ 94%が「あてはまる」と回答しているうえに、「よくあてはまる」が61%となっており、昨年度と比較すると21%増加している。今年は総合防災訓練が本校で実施され、多くの保護者や地域の方が参加してくださった。また、実施後、家庭での話題になっていたと思われる、「家庭では防災や交通安全について話し合っている」も改善傾向が見られる。今後も連携、協働を基盤とした防災教育を実施していくとともに、通学に使用する道路の状況を踏まえ、適切な安全教育を推進していく。</p>
<p>教職員</p>	<p>○「ドリル等による反復学習により基礎学力を定着させている」→ ICTの活用や個別指導、ドリル学習に積極的に取り組んだ成果が出たと思われる。AIドリルの効果的</p>	<p>○「児童の実態に合った人権学習ができています」→ 教職員間で取組に差がある結果となっている。共通理解のもと人権教育の実践を行う必要がある。</p>	<p>○「日々の生活の中で、児童に体力がつくように務めている」↑ 「すくすくタイム」の取組を進めてきたところである。児童評価においても改善が見られて</p>

	<p>な活用について検討する必要がある。</p> <p>○ 読書習慣をつける環境作り（本の充実・おうち読書の設定）に取り組んでいるところである。児童、保護者の評価は依然思わしくない状態であるので、児童が主体的に読書活動を行うことができるような取組を行う必要がある。</p> <p>○ 「各教科の指導内容について教材研究をし、分かる授業をしている」↑ 限られた時間の中で授業の準備に精を出す姿が多く見られた。効率的に教材研究できるよう、教職員組織としての取組を行っていききたい。</p> <p>○ 「朝・帰りの会や特別活動等でスピーチや話し合い活動を取り入れ、話したり聞いたりする言語活動の充実を図っている」→ 児童評価の学級会については、昨年度より低下している。学級会の充実を図る必要がある。</p> <p>○ 「道徳の時間、体験活動を取り入れるなど授業の工夫に努めている」↑ 「考え、議論する道徳」となるよう今後も授業改善に取り組んでいきたい。</p>	<p>○ 「音楽や図工などで、子どもたちの豊かな感性を養うよう努めている」↓ 下振れの傾向である。教科を通して、豊かな情操を育てることに積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>○ 「道徳の時間、体験活動を取り入れるなど授業の工夫に努めている」「地域のゲストティーチャーや交流学习、体験学習を積極的に取り入れている」↑ 昨年度より、「ややあてはまる」が大きく増加している。学校運営協議会の委員の方にお声かけいただき、学校行事や学習活動で多くの地域の方のご協力を得ることができた。市の外部人材活用事業の効果的な活用や学校が必要としている外部人材と地域の人材をマッチングできるようにすれば、さらに効果が上がると考えられる。</p>	<p>いるので、さらに効果的な取組となるよう改善していききたい。</p> <p>○ 「給食指導等を通して、バランスのよい食事指導を行うなど、食育指導を行っている」↑ 食育指導は例年通り食育パワーアップ作戦等積極的にできた。また、学校保健委員会や食育劇などの取組も進めているところである。保護者評価でも述べたように今後も学校と家庭とが連携して取組を進めていく必要がある。</p> <p>○ 「防災や安全について機会をとらえて指導している」↓ 下振れの傾向にある。火災、不審者対応の避難訓練が計画からずれ込んだ。訓練計画を危険等発生時対処要領に明記することはもちろんのこと、全教職員が危険等発生時対処要領を共有し、安全確保のための意識、行動様式を統一する必要がある。危険等発生時対処要領をPDCAサイクルで見直すことから始めたい。</p>
地域	<p>○ 「子どもたちが生き生きと活動する、多様な学校行事ができていく」↑ 今年度は、学校運営協議会の委員の方にお声かけいただき、学習活動や学校行事に多くの地域の方にお越しいただき、ご協力いただいた。さらに、市の外部人材活用事業を有効に活用することで、体験活動を充実させたい。</p>	<p>○ 「優しく思いやりのある態度が取れている」↓ 「気持ちの良い挨拶ができていく」↓ 下振れの傾向である。登下校中や地域の方々との交流の際には、形式的な挨拶にとどまらず、コミュニケーションが行えるようにしていきたい。</p> <p>○ 「学校の様子をわかりやすく保護者や地域に伝えようとしている」100% 学校新聞「希望のひとみ」を学校に関わってくださっているボランティアの方々全員へ届けたことも情報を知る一因として好評であった。</p>	<p>○ スクールガードや地域ボランティアによる登下校支援により児童は、安全な登下校ができていると考える。児童の命を守るために、地域の方々との連携を図ることができているので、続けていきたい。</p> <p>○ 「学校は防災・安全など地域と連携して教育活動を進めている」↑ 市地域防災連合訓練が実施されたため向上したものとする。今後も、自主防災会と連携した防災教育を推進していきたい。</p>